

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月3日

会社名 楽天証券株式会社

URL <http://www.rakuten-sec.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 楠 雄治

問合せ先責任者(役職名) 常務執行役員(氏名) 由井 秀和

TEL 03-6739-1700

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期 (2021年1月~2021年6月)	44,159	29.1	41,881	26.5	8,447	17.3	9,036	25.4	5,248	9.0
2020年12月期第2四半期 (2020年1月~2020年6月)	34,211	23.9	33,096	25.3	7,202	28.7	7,205	39.7	4,813	55.6

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 5,554百万円(+17.6%) 2020年12月期第2四半期 4,722百万円(+60.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期 (2021年1月~2021年6月)	74,139 01	— —
2020年12月期第2四半期 (2020年1月~2020年6月)	67,991 47	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期 (2021年6月30日)	2,740,971	108,212	3.9	1,528,450 58
2020年12月期 (2020年12月31日)	2,432,791	102,658	4.2	1,449,998 26

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 108,212百万円 2020年12月期 102,658百万円

2. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

当社グループの主たる事業である証券業の業績は経済情勢や相場環境によって大きく影響を受ける状況にあり、業績予想を行うことが困難であることから、開示しておりません。

3. その他

- 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無
新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)
- 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無
- 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 無
 - ② ①以外の会計方針の変更: 無

- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	70,799株	2020年12月期	70,799株
② 期中自己株式数	2021年12月期2Q	一株	2020年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	70,799株	2020年12月期2Q	70,799株

※特記事項

当社の四半期連結財務諸表は「有価証券関連業経理の統一に関する規則」(1974年11月14日付日本証券業協会自主規制規則)に準拠して作成し、商品先物取引業固有の事項につきましては、日本商品先物取引協会が定めた「商品先物取引業統一経理基準」(1993年3月3日付社団法人日本商品取引協会理事会決定)に準拠して作成しております。

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

【参考情報】

2021年4月～2021年6月の連結業績

連結経営成績(四半期)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期 (2021年4月～2021年6月)	20,524	21.1	19,350	18.3	2,809	△15.1	3,063	△7.7	1,671	△21.6
2020年12月期第2四半期 (2020年4月～2020年6月)	16,949	28.1	16,358	30.0	3,308	46.3	3,320	59.3	2,132	80.0

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	4
2. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(その他)	10
3. 四半期業績資料.....	11
(1) 株券売買高.....	11
(2) 自己資本規制比率.....	11
(3) 預り資産.....	11
(4) 役職員数の状況.....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における国内株市場は、米国のバイデン新政権への移行と政策を前向きに捉える動きや、新型コロナウイルスのワクチン接種進展による経済活動・社会生活の正常化期待など、これまでの懸念材料を克服する格好で上昇基調を辿りました。大発会に27,000円台の水準だった日経平均株価は、28,000円台、29,000円台の節目を短期間で次々と突破し、2月中旬には1990年8月以来、約30年半ぶりとなる30,000円台に乗せる場面も見せました。ただし、米国を中心とする世界経済の急回復と共に、原材料費の上昇傾向をはじめ、半導体や労働力などの供給不足を背景にしたインフレ警戒が高まり、米国が早期に金融緩和の出口を検討するとの観測が浮上したあたりから、国内株市場の風向きが変化しました。米長期金利の動向をにらみつつ、グロース株とバリュー株が交互に買われる格好で高値を更新していく米国の株価指数とは対照的に、日経平均株価は上値を切り下げながら、上げ下げを繰り返す展開が続き、ワクチン接種などで出遅れている日本の「コロナ対応力」の差が浮き彫りとなる場面もありました。6月半ばにかけては、国内のワクチン接種が本格化したことで、ようやく出遅れ修正で買われる動きを見せ始めましたが、上昇に勢いが出ないまま、28,791円で期末の取引を終えました。

このような環境下、当社におきましては、個人のおお客様の資産形成、資産運用に真に役立つ、信頼される証券会社になるため、「お客様本位の業務運営宣言」に基づいた、最良かつ革新的な投資サービスの提供に努めてまいりました。

主に投資初心者の方々に向けて、楽天グループのエコシステムを活かしたサービス拡大を図ることで、従来のインターネット証券にはない、付加価値の高いサービスを多く提供しております。「楽天ポイント」を活用した投資サービスは、投資信託、国内株式、バイナリーオプションに対応しており、気軽にかつ利便性高くご利用いただいております。また、投資信託については、「楽天カード」のクレジットカード払いでポイント還元を受けながら投資信託の積立ができるサービスを多くのおお客様にご利用いただいているほか、6月よりクレジットカード決済に対応したロボアドバイザー「らくらく投資」の提供を開始しました。当四半期も新規口座開設が拡大し、投資信託残高は2.2兆円に到達しております。また、楽天銀行と当社は、個人の資産形成・資産運用に関わるサービスの利便性向上を目的として、2011年4月から口座連携サービス「マネーブリッジ」を提供しており、2021年1月に設定口座数が200万口座に到達し、4月には連携預金残高が3兆円を突破しました。今後も楽天グループとの連携強化を推進し、幅広い層のおお客様へ当社の投資サービスと投資機会を提供することで、当社の顧客基盤を拡大してまいります。

トレーディング重視のおお客様に向けても、更なる機能の充実を図っております。国内株式取引については、7月より一般信用取引「いちにち信用」の買方金利・貸株料の改定を行い、年率0%枠を50万円以上に引き下げました。米国株式取引については、4月より「マネーブリッジ」の自動入出金機能に対応し、スムーズな取引が可能になり、利便性が大きく向上しております。外国為替証拠金取引については、6月に「楽天FX」取引における新興国3通貨ペアのスプレッドを縮小し、よりコストを抑えたFX取引が可能になりました。6月より、パソコン向けトレーディングツール「MARKETSPEED II®」にリアルタイムスプレッドシート(RSS)を導入し、国内株式取引、株価指数先物・オプション取引、商品先物取引において、プログラミング言語を使用せずに自動売買の設定を行うことができ、思い通りの取引を実現できる環境が整いました。当社は引き続き、お客様のニーズに即し、魅力あるサービスや商品を提供することで、お客様の投資活動・資産形成に貢献してまいります。

加えて、提携事業ビジネスにも注力しております。IFA事業につきましては、当四半期も順調に基盤拡大とサービス強化を続けており、4月に個人とIFAをつなぐプラットフォームサービス「お金の健康診断」の提供を開始しました。地方銀行との提携による金融商品仲介業務については、4月に北國銀行とファイナンシャルスタンダードとの3者間における「共同運営サービス」の提供を開始しました。楽天証券・地域金融機関・IFA事業者の強みを活かした新たな提携モデルを通じて、各社の課題を解決しながら、個人の資産運用支援や地域経済の活性化に貢献しております。当社は、今後とも地方銀行との提携を通じ、それぞれの地域やお客様のニーズに合わせたサービスや商品の提供を推進することで、地方銀行の更なる資産運用・資産形成サービスの強化を支援してまいります。

以上の結果、2021年6月末における楽天証券の口座数は6,243,338口座(前年同期末5,080,140口座)、信用取引口座数は469,683口座(前年同期末408,969口座)と増加しました。

当第2四半期累計期間の当社グループにおける主な取り組みは以下のとおりです。

- ・ ウェブ完結型のiDeCoの加入・移換申込プロセスの提供(2021年1月)
- ・ 預り資産残高10兆円突破(同年1月)

- ・ 楽天銀行と楽天証券の口座連携サービス「マネーブリッジ」利用者が200万口座突破（同年1月）
- ・ 「iSPEED®」の累計ダウンロード数が500万件突破（同年2月）
- ・ 主要ネット証券で初めてコールセンターの土日営業を開始（同年3月）
- ・ 「つみたてNISA」の口座数が100万口座突破（同年3月）
- ・ 楽天銀行と楽天証券の口座連携サービス「マネーブリッジ」自動入金機能が米国株式取引に対応（同年4月）
- ・ 楽天銀行と楽天証券の口座連携サービス「マネーブリッジ」利用者の預金残高が3兆円突破（同年4月）
- ・ 「楽天カード」クレジット決済での投信積立設定口座数が100万口座突破（同年4月）
- ・ 個人とIFAをつなぐ新サービス「お金の健康診断」提供開始（同年4月）
- ・ 北國銀行とファイナンシャルスタンダードとの3者間における「共同運営サービス」提供開始（同年4月）
- ・ FAQサイトを全面リニューアルし、AI技術を搭載（同年4月）
- ・ 証券総合口座数が600万口座に到達（同年5月）
- ・ 「楽天FX」の新興国3通貨ペアのスプレッドを縮小（同年6月）
- ・ 投信積立クレジットカード決済に対応したロボアドバイザー「らくらく投資」提供開始（同年6月）
- ・ 「MARKETSPEED II®」にリアルタイムスプレッドシート（RSS）を導入（同年6月）

これらの施策の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、営業収益は44,159百万円、純営業収益は41,881百万円、営業利益は8,447百万円、経常利益は9,036百万円、四半期純利益は5,248百万円となりました。

また、主な収益・費用の状況は以下のとおりであります。

【受入手数料】

当第2四半期連結累計期間の受入手数料は19,439百万円となりました。
 主要な科目別の内訳は以下のとおりであります。

[委託手数料]

委託手数料は、株式現物取引、株式信用取引を中心に15,255百万円となりました。

[募集・売出しの取扱手数料]

募集・売出しの取扱手数料は、投資信託の販売手数料を中心に793百万円となりました。

[その他の受入手数料]

その他の受入手数料は、投信代行手数料を中心に3,323百万円となりました。

【トレーディング損益】

トレーディング損益は、外国為替証拠金取引（楽天FX）、外国債券の販売により9,471百万円となりました。

【金融収支】

金融収益は12,655百万円となりました。また、金融収益から金融費用を差し引いた金融収支は10,377百万円となりました。

【販売費及び一般管理費】

販売費・一般管理費は33,433百万円となりました。主な内訳は、取引関係費18,471百万円、事務費6,172百万円、減価償却費3,870百万円、人件費3,021百万円等となっております。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、35,844百万円の収入となりました。これは、有価証券担保貸付金及び有価証券担保借入金、預り金、受入保証金等の増減による収入及び信用取引資産及び信用取引負債、預託金、コールマネー等の増減による支出が主な要因であります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、6,270百万円の支出となりました。これは、定期預金の増減による支出及び無形固定資産の取得による支出が主な要因であります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、66百万円の支出となりました。これは、リース債務の返済による支出が要因であります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、224,998百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主たる事業である証券業の業績は経済情勢や相場環境によって大きく影響を受ける状況にあり、業績予想を行うことが困難であることから、開示しておりません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
(資産の部)		
流動資産	2,400,906	2,707,740
現金・預金	200,721	237,372
預託金	1,563,496	1,661,519
金銭の信託	2,000	2,000
トレーディング商品	32,797	27,049
商品有価証券等	863	936
デリバティブ取引	31,934	26,113
営業投資有価証券等	7	7
約定見返勘定	2,352	643
信用取引資産	503,798	659,117
信用取引貸付金	423,306	596,817
信用取引借証券担保金	80,491	62,299
有価証券担保貸付金	18,224	35,933
借入有価証券担保金	18,224	35,933
立替金	279	329
募集等払込金	9,144	18,176
短期差入保証金	49,797	52,054
支払差金勘定	2,807	1,392
前払金	5,359	1,253
前払費用	530	477
未収入金	3,271	3,439
未収収益	6,702	7,409
貸倒引当金	△ 384	△ 435
固定資産	31,885	33,230
有形固定資産	※1 1,555	※1 1,848
建物	335	328
器具・備品	1,025	1,346
リース資産	194	172
無形固定資産	26,692	27,094
のれん	4,957	4,752
顧客関連資産	816	720
ソフトウェア	19,005	19,219
ソフトウェア仮勘定	1,544	2,080
リース資産	369	322
投資その他の資産	3,637	4,288
投資有価証券	669	861
長期貸付金	232	348
長期差入保証金	1,305	1,429
長期前払費用	97	105
繰延税金資産	376	322
その他	2,722	2,968
貸倒引当金	△ 1,766	△ 1,748
資産合計	2,432,791	2,740,971

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
(負債の部)		
流動負債	2,323,443	2,625,077
トレーディング商品	10,719	8,605
デリバティブ取引	10,719	8,605
信用取引負債	143,955	143,385
信用取引借入金	17,374	23,686
信用取引貸証券受入金	126,580	119,698
有価証券担保借入金	314,589	535,265
有価証券貸借取引受入金	314,589	535,265
預り金	1,222,711	1,301,479
受入保証金	398,487	446,359
有価証券等受入未了勘定	—	23
短期借入金	222,000	179,000
前受金	1,216	1,398
前受収益	3	—
リース債務	132	142
未払金	16	2
連結納税未払金	2,389	2,039
未払費用	5,751	6,083
未払法人税等	911	712
賞与引当金	284	349
役員賞与引当金	30	10
販売促進引当金	240	215
その他の流動負債	3	5
固定負債	1,332	1,416
リース債務	463	399
退職給付に係る負債	653	801
資産除去債務	215	216
特別法上の準備金	5,356	6,264
金融商品取引責任準備金	5,356	6,264
負債合計	2,330,132	2,632,758
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	7,495	7,495
資本剰余金	4,511	4,511
利益剰余金	91,450	96,699
株主資本合計	103,457	108,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	2
為替換算調整勘定	△ 745	△ 446
退職給付に係る調整累計額	△ 55	△ 49
その他の包括利益累計額合計	△ 798	△ 493
純資産合計	102,658	108,212
負債・純資産合計	2,432,791	2,740,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(自 2020年1月1日) (至 2020年6月30日)	(自 2021年1月1日) (至 2021年6月30日)
営業収益	34,211	44,159
受入手数料	14,426	19,439
委託手数料	11,677	15,255
引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	14	67
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	419	793
その他の受入手数料	2,315	3,323
トレーディング損益	9,597	9,471
営業投資有価証券等損益	△ 0	△ 0
金融収益	8,996	12,655
その他の営業収益	1,190	2,592
金融費用	1,115	2,278
純営業収益	33,096	41,881
販売費・一般管理費	25,894	33,433
取引関係費	12,773	18,471
人件費	2,688	3,021
不動産関係費	906	953
事務費	5,098	6,172
減価償却費	3,532	3,870
租税公課	488	502
のれん償却額	275	275
貸倒引当金繰入	56	95
その他	75	69
営業利益	7,202	8,447
営業外収益	48	648
営業外費用	44	59
経常利益	7,205	9,036
特別損失	※1 129	※1 949
税金等調整前四半期純利益	7,076	8,087
法人税、住民税及び事業税	2,246	2,784
法人税等調整額	15	54
法人税等合計	2,262	2,838
四半期純利益	4,813	5,248
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,813	5,248

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(自 2020年 1月 1日) (至 2020年 6月 30日)	(自 2021年 1月 1日) (至 2021年 6月 30日)
四半期純利益	4,813	5,248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	△ 94	298
退職給付に係る調整額	3	6
その他の包括利益合計	△ 91	305
四半期包括利益	4,722	5,554
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,722	5,554
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	区分	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
		(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
		金額 (百万円)	金額 (百万円)
I	営業活動によるキャッシュ・フロー		
	税金等調整前四半期純利益	7,076	8,087
	減価償却費	3,532	3,870
	のれん償却額	275	275
	貸倒引当金の増減額	△ 18	32
	販売促進引当金の増減額	△ 37	△ 25
	金融商品取引責任準備金の増減額	0	907
	受取利息及び受取配当金	△ 471	△ 202
	支払利息	63	147
	固定資産除却損	129	41
	預託金の増減額	△ 107,496	△ 98,022
	トレーディング商品の増減額	△ 3,338	3,634
	約定見返勘定の増減額	△ 124	1,708
	信用取引資産及び信用取引負債の増減額	△ 19,592	△ 155,888
	短期差入保証金の増減額	△ 5,176	△ 2,257
	支払差金勘定の増減額	△ 494	1,415
	預り金の増減額	94,660	78,767
	有価証券担保貸付金及び有価証券担保借入金の増減額	79,531	202,966
	受入保証金の増減額	36,235	47,872
	コールマネー等の増減額	△ 17,000	△ 43,000
	募集等払込金の増減額	△ 3,344	△ 9,032
	その他	781	△ 2,734
	小 計	65,191	38,565
	利息及び配当金の受取額	723	753
	利息の支払額	△ 39	△ 65
	法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△ 600	△ 3,408
	営業活動によるキャッシュ・フロー	65,274	35,844
II	投資活動によるキャッシュ・フロー		
	定期預金の純増減額	2,653	△ 1,564
	有形固定資産の取得による支出	△ 239	△ 497
	有形固定資産の売却による収入	105	—
	無形固定資産の取得による支出	△ 4,352	△ 4,218
	投資有価証券の売却等による収入	1	—
	貸付金の回収による収入	28	9
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,804	△ 6,270
III	財務活動によるキャッシュ・フロー		
	リース債務の返済による支出	△ 62	△ 66
	配当金の支払額	△ 3,000	—
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,062	△ 66
IV	現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 789	4,093
V	現金及び現金同等物の増減額	59,619	33,600
VI	現金及び現金同等物の期首残高	93,505	191,397
VII	現金及び現金同等物の四半期末残高	153,125	224,998

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 有形固定資産の減価償却累計額

(前連結会計年度)	(当第2四半期連結会計期間)
3,845 百万円	4,117 百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1. 特別損益の内訳

		(前第2四半期連結累計期間)	(当第2四半期連結累計期間)
特別損失	金融商品取引責任準備金繰入	0 百万円	907 百万円
	固定資産除却損	129 百万円	41 百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の前第2四半期連結累計期間末残高及び当第2四半期連結累計期間末残高と前第2四半期連結貸借対照表及び当第2四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は以下のとおりであります。

	(前第2四半期連結累計期間)	(当第2四半期連結累計期間)
現金・預金	161,045 百万円	237,372 百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 6,408 百万円	△ 9,737 百万円
拘束性預金	△ 1,512 百万円	△ 2,636 百万円
現金及び現金同等物	153,125 百万円	224,998 百万円

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月25日 定時株主総会	普通株式	3,000	42,373円48銭	2019年12月31日	2020年3月26日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

3. 【四半期業績資料】

(1) 株券売買高 (楽天証券株式会社)

(単位：百万株・百万円)

	前第2四半期累計期間 (2020年1月～6月)		当第2四半期累計期間 (2021年1月～6月)		前事業年度末 (2020年1月～12月)	
	株数	金額	株数	金額	株数	金額
合計	33,773	34,546,116	38,802	47,984,213	71,248	75,658,437
(自己)	(9)	(11,713)	(0)	(873)	(24)	(22,465)
(委託)	(33,763)	(34,534,402)	(38,801)	(47,983,339)	(71,223)	(75,635,972)
委託比率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
東証シェア (%)	5.5	3.7	6.6	4.4	6.0	4.0
1株当たり委託手数料	0円29銭		0円35銭		0円31銭	

(2) 自己資本規制比率 (楽天証券株式会社)

(単位：百万円)

	前第2四半期末 (2020年6月30日)	当第2四半期末 (2021年6月30日)	前事業年度末 (2020年12月31日)
固定化されていない自己資本の額 (A)	64,471	75,699	66,747
リスク相当額 (B)	18,854	27,434	22,272
市場リスク相当額	282	597	158
取引先リスク相当額	10,185	15,576	12,520
基礎的リスク相当額	8,385	11,260	9,593
自己資本規制比率 (A) / (B) × 100	341.9 %	275.9 %	299.6 %

(3) 預り資産 (楽天証券株式会社)

(単位：百万円)

	前第2四半期末 (2020年6月30日)	当第2四半期末 (2021年6月30日)	前事業年度末 (2020年12月31日)
株式	3,443,223	5,208,652	4,212,373
受益証券	1,411,525	2,873,220	1,879,893
その他	1,623,278	1,983,866	1,834,858
合計	6,478,027	10,065,741	7,927,125

(4) 役職員数の状況 (楽天証券株式会社)

(単位：人)

	前第2四半期末 (2020年6月30日)	当第2四半期末 (2021年6月30日)	前事業年度末 (2020年12月31日)
役員	8	8	8
従業員	536	571	538